

『地区財団セミナー報告』

地区ロータリー財団委員会
委員長 **大谷 新一郎**
(相模原南RC)



1) 地区財団セミナー

7月16日(土)辻堂アイクロスに於いて地区財団セミナーが行われた。

毎年7月よりの新年度最初の地区セミナーであります。

佐藤ガバナー年度一年間のロータリー活動の源となる奉仕活動推進の財団セミナーであり、財団補助金等を効率よく使用しクラブ活性化へ向けての勉強会でもあります。

7月より新しくクラブ会長になられたロータリアンを始めクラブ財団委員長を含めた約100名の参加者となりました。

例年財団セミナーは地区補助金使用のための基本的な手順等を補助金配分委員会・資金管理委員会・平和フェロー奨学金委員会・資金推進委員会の4委員長に説明して頂いていましたが、今回は各委員長をパネラーに久保田副委員長がコーディネーターとして、補助金等の使用方法や補助金を使用する活動事例等をわかりやすく、成功例・失敗例も含めたディスカッションになりました。また、活動の土台となるロータリアンの財団寄付が世界的規模の活動からクラブ規模の活動をしっかり寄付金が正確に使用されていることを説明して、更なる財団寄付のお願いをしてディスカッションを終了しました。

パネルディスカッションの前に大口寄付アドバイザーの杉岡E/MGAより寄付金の現状とその寄付がどのように配分されて奉仕活動に使用されているかお話し頂き、最後に今回当地区

では初めてですが第2地域財団コーディネーター補佐 (ARRFC) の高橋茂樹様に今回のセミナーの講評をいただきました。その中でアーチクランフがロータリー財団を設立した意義と各種財団寄付の説明をされ、ロータリアンの財団寄付がいかにか世界平和に貢献しているかをお話しされ、今回のセミナーのお褒めの言葉も頂き、セミナーを終了しました。

2) 補助金管理セミナー

財団セミナー終了後グローバル補助金を検討しているクラブの補助金管理セミナーを引き続き行いました。

参加クラブは7クラブでした。グローバル補助金を使用するにはこのセミナーに1クラブ2名以上の参加が必須条件となっておりセミナー後修了書を受けなくてはなりません。また単年度での支援ではなく長期的に実施国(実施プロジェクト)に影響をもたらす、持続可能な事業でなければなりません。

遠く離れた支援国とのコミュニケーションをとりパートナーシップを発揮し、最大の効果を生むために多くの条件をクリアしなければなりません。世界の平和を実現するためのとても重要なそして充実した補助金であります。

当地区では多くの実績を残しており、益々のグローバル補助金の利用申請を期待しております。地区財団委員会は委員会一丸となって皆様のサポートをすることをお約束し閉会しました。